

ひまわり

NO. 1

もうすぐ夏休みです。一学期は、田邊先生が授業を提供してくださいました。ありがとうございました。研修便りでは、研修協議会で出た意見等を記載しますので、今後の参考にさせていただけたら幸いです。

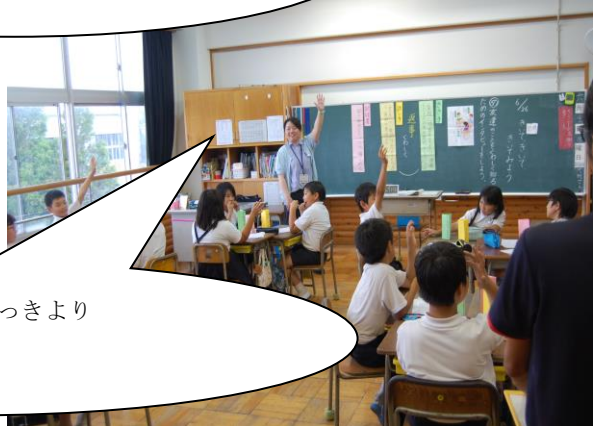
田邊先生の国語

①日時 令和元年6月26日（水）第5校時 （5年2組）

②授業の様子



3人で、司会、記録、聞き手役をしました。
友達のことがよくわかりました。



聞き手役で、こんな所がさっきより
できました。

- (視点) ① グループ活動を仕組むことで、一人ひとりが主体的に活動できていたか。
② 学習の振り返りの仕方が適切であったか。
③ その他

③成果（研究協議会において）

- ① ・全体で本時のめあてがはっきり示されていて、活動内容が明確だった。
- ・書くことが苦手な子へのちょっとした支援がよかった。
- ・札や板書、質問内容など、事前準備が周到であったことから、途切れることなくインタビューが続けら

れていた。

- ・3人グループで全員がどの役割も経験できるように仕組まれていた。それぞれの役割が明確だったので、自信をもって活動に取り組んでおり、主体的な学びの姿となっていた。

- ②
 - ・活動内容の明確な提示があり、振り返りの項目もそれに合わせて具体的に設定されていたので、子供が振り返りやすかった。
 - ・1回目のインタビューが終わった後、全体でフィードバックをしていたのが2回目、3回目、振り返りへとつながっていった。
 - ・教師によるロールプレイは自分たちのインタビューを振り返るには有用だった。
- ③
 - ・聞き方名人はこれからも活用していくのがよい。
 - ・どんなことも受けとめてくれる、学級の受容的な雰囲気インタビューに生かされていた。
 - ・既習事項の確認に教室掲示を活用していたのがよかった。
 - ・丁寧な準備や色分け、特別な子への支援等、田邊先生のユニバーサルデザインの視点をもちた学級経営や授業づくりをされているのが随所で垣間見られた。

④課題（研究協議会において）

- ①
 - ・テレビのインタビュー番組を活用すると、インタビューの質がより深まったのではないか。
 - ・1問1答になりがちであることから、インタビューも会話のキャッチボールであることを意識させ、話したことに対して臨機応変に切り返すにはどうすればよいかなどについてももっと深められるとよかった。
 - ・“きく”という行為は目線やうなずきなども重要な要素であることを意識できるともっとよかった。
 - ・話し手も聞き手に分かりやすく話すということが大切であるという視点もあるとよい。
- ②
 - ・教師の導入の説明が長かった。もっと短くするとフィードバックをより細かくできたのではないだろうか。
 - ・自己評価だけでなく他者評価も取り入れると、振り返りに深みが出て、子供たちの主体性もさらに高まるのではないだろうか。
 - ・子供の気付きを深く掘ったり、全体に広げたりできるとよかった。
- ③
 - ・次の時間に報告をするということを意識付けさせると、子供たちも見通しを立ててメモをとることができたのではないだろうか。
 - ・発表するときみんなに向けて発表するという意識をもたせたい。また、声の大きさについても子供たちの意識はまだまだ低いので、声のものを活用できるとよい。

⑤次回にむけて、取り入れたいこと

- ・一人一役となり、どの児童も主体的に話し合いに参加していました。インタビューの後半は、聞き手もうなずいたり、自分の言葉で素直に答えたりしているところが印象的でした。話し合い後も、友達のことを少しわかって嬉しそうにしている児童も多かったです。全校で取り組んでいる「聞き方」名人も活用されていて前学年からの積み重ねがとても大切なことを改めて感じました。ありがとうございました。